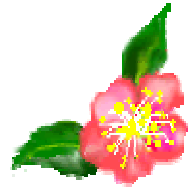


船橋 YMCA 通信



No.49 2009年7月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



今年度の運営体制

船橋YMCAの運営はボランティアのメンバーによって支えられています。今年度の運営体制を6月24日(水)の千葉YMCA常議員会で確認しました。今年は、以下の4名体制となります。

運営委員長：榎 一光(会社員)
副運営委員長：久保田 穰
運営委員：古屋朝則(薬円台教会)
担当職員：矢部尚美(千葉YMCA)

千葉YMCA総会

千葉YMCAの第38回定期会員総会が5月30日(土)に千葉センターで開かれました。

総会は、出席17名、委任状による出席104名の合計121名で、総会構成員218名の1/3以上の出席があったので成立しました。

総会では、2008年度事業報告、2008年度会計決算報告及び監査報告、2009年度事業方針・事業計画案、2009年度会計予算案、常議員選挙結果報告の議事が全て可決承認されました。



《議案説明をする赤澤総主事事務取扱》

総会では青木常議員会議長から、本年の1月26日に逝去された鈴木留蔵前理事長の長年にわたる千葉YMCAへの奉仕を記念して「千葉YMCA

鈴木留蔵記念国際事業基金」(略称：鈴木基金)が設立されたことの報告があり、あわせて募金への呼びかけがありました。



《ワークショップ講師の林浩二さん》

総会の第3部として、千葉県立中央博物館上級研究員林浩二氏を講師にむかえて、ワークショップ「持続可能な開発のための教育(ESD)を考える」が開かれました。ESD(Education for Sustainable Development)は、持続可能な社会をつくるための価値観を養い、社会づくりに参画する力を育むことを目指しています。

ワークショップでは、参加者が4つのグループに分かれて、各々「リーマンブラザーズ社破綻」という言葉から連想されることから次々に関係することを模造紙に書き込みました。その結果をお互いに発表しあいましたが、世の中はどこかでつながっていることが良く分かりました。



《ワークショップの発表風景》

“ふなばし市民まつり”

今年の“ふなばし市民まつり”は、7月25日(土)に船橋本町通で開かれます。

船橋Y M C Aは、ジョイ&ショッピングフェアフリーマーケットに参加しますので、みなさんお買い物にお出てください。

船橋Y M C A活動記録

船橋Y M C Aの5月、6月の活動記録です。

- ・ 5月9日(土)そらまめクラブ「あおぞら」
内容：紙ネンドで好きなキャラクターを作ろう
参加人数：3名



《この日の作品のひとつです》

- ・ 5月10日(日)わんぱくクラブ5月例会
場所：香澄公園(習志野市)
内容：ゲーム大会
参加人数：5名



《何のゲームかな?》

- ・ 5月21日(木)千葉Y M C A常議員会
- ・ 5月30日(土)第38回定期会員総会
- ・ 6月6日(土)わんぱくクラブ6月例会
場所：淑徳大学(千葉市中央区)
内容：おみこし作り
参加者：4名

- ・ 6月13日(土)そらまめクラブ「あおぞら」
作品：正体不明!!てるてる様を作ろう
参加人数：4名



《色々な「てるてる様」が出来ました》

- ・ 6月15日(月)チャリティーラン事務局会
- ・ 6月24日(木)千葉Y M C A常議員会
- ・ 6月27日(土)そらまめクラブ「あおぞら」
作品：紙箱でカッコイイ手動エコカーを作って遊ぼう!
参加人数：2名



《素敵な車が出来ました・左端は先生の作品》

- ・ 6月29日(月)船橋地域デポ運営委員会

編集後記

昨年の秋から千葉Y M C Aの将来をどう設計するかを検討する活動が続いています。その結果のひとつとして、2009年度から船橋のわんぱくクラブは千葉センターの野外活動と合同で実施することになりました。このため参加者数は、京成津田沼駅集合・解散の人数を記載しています。(横)